

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名	石榑峠道路（一般国道421号）	事業区分	一般国道	事業主体	直轄
起終点	自：三重県員弁郡大安町石榑南 至：滋賀県神崎郡永源寺町黄和田	延長	4.5 km		

事業概要

一般国道421号は、三重県桑名市と滋賀県近江八幡市を結ぶ延長約70kmの幹線道路であり、三重県北勢地域と滋賀県東近江地域の連携を強化する重要な路線である。

事業の目的、必要性

石榑峠道路は、三重、滋賀県境に位置し、峠部における、線形不良・幅員狭小区間及び冬季閉鎖区間等規制区間の解消を図ることにより、安全で円滑な道路交通の確保をするとともに、三重ハイプラネット21構想等の拠点開発プロジェクトを支援することにより、地域の活性化に大きく寄与するものである。

全体事業費	約150億円	計画交通量	5,600台/日
費用便益比	B/C 1.8	総費用	144億円
		事業費	135億円
		維持管理費	9億円
		総便益	256億円
		走行時間短縮便益	211億円
		走行費用減少便益	45億円
		交通事故減少便益	0億円
		基準年	平成15年

事業の効果等

- ・地域づくりの支援（大型車通行不能区間や冬季交通不能区間を解消）
- ・地域づくりの支援（拠点開発プロジェクトを支援（三重ハイプラネット21構想等））
- ・地域づくりの支援（生活圏中心都市（桑名市・八日市市）と永源寺町・大安町役場間の移動に相当時間を要する）
- ・道路の防災対策・危機管理の充実（異常気象時通行規制区間を解消）

関係する地方公共団体等の意見

石榑峠道路は、地域の活性化・地域連携の支援のために不可欠な道路であることから、八日市市長等関係3市7町から構成される国道421号整備促進期成同盟会他から早期事業化の要望を受けている。

事業概要図

